



防 犯 灯

し地区管理。新設14基120万円で設置予定。

開田支所長 230基は交付金を充当し地区管理、90基を支所管理。今後は街灯管理台帳を作成し適正管理に努める。

三岳支所長 439基全て支所管理。電球交換は地区に依頼。新設は6基予定。

問 支所ごとに管理体制が違い格差が生じている。統一できないか。

総務課長 開田支所で計画している管理台帳の様子を見ながら時間をかけて検討

したい。

問 現時点での上下水道事業関係の問題点は？

上下水道課長 下水事業は元金利子の返済金、処理場の管理経費が多額である。上水事業も、老朽管の敷設変え等多額な費用が必要。運営は厳しく、これらの負担を利用者に求めることは問題がある。処理場の統合、下水つなぎ込みの促進、上水施設の統合等々検討し、運営努力したい。

問 料金値上げの時期も来ると思うが考えは？

問 木曾町の死因別状況は国等と比較してどうか。

保健福祉課長 平成19年度木曾町死亡者の死因は第1位がん24%、第2位心疾患16%、第3位肺炎13%、第4位脳血管疾患9%である。がんが死因の第1位となったのは、国は昭和56年から、長野県では昭和59年から、当町では平成7年からである。

問 県の計画に対し町はどの様に進めていくか。

保健福祉課長 食育推進計



浦 沢 昌 徳 議 員

A **Q** **がん対策推進計画への対応は食育推進計画の中で**

同課長 経費節減、事業の効率化に努め、値上げは抑制したい。

町長 近い将来値上げに追い込まれると考えざるを得

ないが、物価高騰の折、値上げは避けるよう努力する。現在は白紙状態である。

問 物価の上昇等、負担増に加え消費税の値上げが論

議されている。生活弱者にとって非常に厳しい現状。料金値上げの際は、住民理解に努めてもらいたい。

画の中で、がんを含む生活習慣病対策として進めている。

問 町として計画を策定していくのか。

ある。植物乳酸菌が予防に貢献した可能性もある。

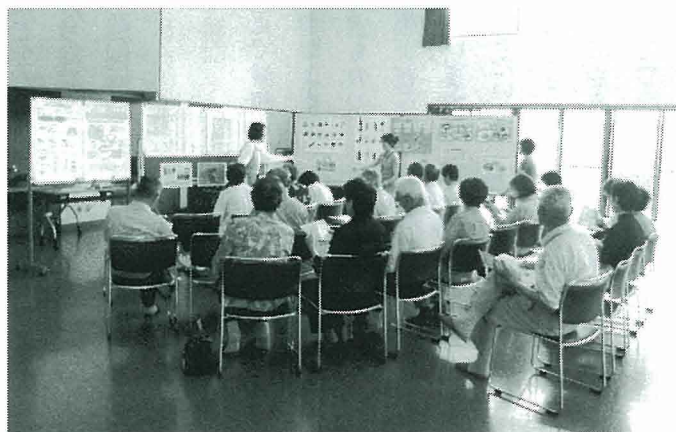
問 庁内で取り組んでいく事はあるか。

保健福祉課長 禁煙、運動といった面になろうかと思うが、検討していきたい。

保健福祉課長

が本年3月で、まだ具体的には考えていないが、2〜3年かけて健康増進計画の策定をしていきたい。

町長 がんの死因第1位の時期を見ると、国や県と木曾町の間に大きなずれが



健 康 指 導